

第3期中期目標・中期計画中的の研究体制

国立大学のミッション再定義及び中期目標・中期計画との整合性を再検討し、2016年に社会からのニーズを反映するエリア・ユニット制を導入することで**実践的防災学の体系化の加速と地域実証・国際展開の強化**

【第1フェーズ】

東日本大震災の被害実態と教訓に基づく実践的防災学の国際研究拠点形成 (2012年度～2015年度)

事業計画の見直し

国連防災世界会議を契機とする体系化・国際展開の必要性の高まり

事業の加速的展開による成果 (被害実態・教訓)

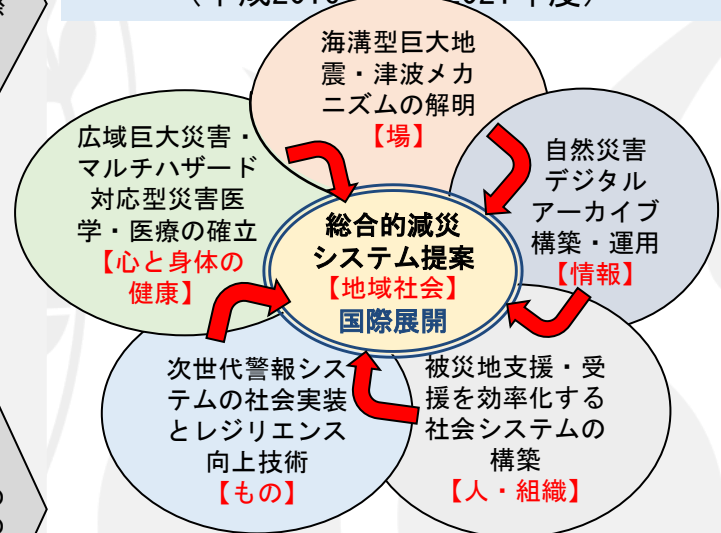
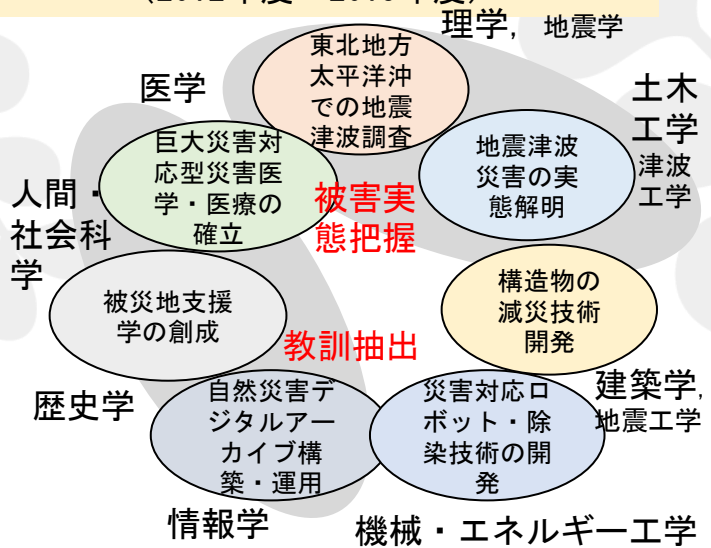
地域の特性や文化に根差した実現方策提案の重要性

総合化と国際展開

地域連携の中での実証

【第2フェーズ】

東日本大震災からの教訓に基づく**実践的防災学の体系化 (エリア・ユニット制の導入)**と国際研究拠点の形成 (平成2016年度～2021年度)



国立大学のミッション再定義
中期目標・中期計画との整合性

変更後の部門分野体制

第4期中期目標中期計画を先取りし、**進化・変容する災害と被害形態**を先取りして将来への備えを先導することを新たなミッションに加えた研究体制強化と防災実践を推進する

【第3フェーズ； 第4期向けに】2021年度～

研究部門による実践的防災学の学理の探求と防災実践推進部門による国内外連携・防災実践の推進により進化・変容する災害への対応を先導

研究体制強化
の必要性

南海トラフ地震・津波災害・首都直下地震

気候変動に伴い頻発化・激甚化する水害

災害と新型コロナウイルス

進化・変容する災害と被害形態

第4期中期目標先取り

